



もろみ日誌クラウド機能資料

②制御でできること編

2026年1月現在

- P2 概要
- P3 温調器を搭載の醸造機器と連携
- P4 遠隔から温度を確認
- P5 温度が設定値を超えるとスマホに通知
- P6 遠隔から設定温度を変更
- P7 設定温度の事前登録「SV計画値」
- P8 既設設備の改造で連携追加が可能
- P9 遠隔制御対応タンクへの改造について
- P10 連携対応の温調器について
- P11 接続可能な温調器台数について
- P12 ゲートウェイへの接続について

もろみ日誌クラウド
製品ページ



特長とメリット概要

特徴

- 醸造機器の「温調器」と接続することで、醸造機器の温度を取得し遠隔からの設定温度変更が可能に



メリット

- 作業の効率化
温度確認、設定温度の変更だけなら現場に行かなくても可能
- 負担低減
品温を自動で記録し経過簿に記帳可能

温調器を搭載の醸造機器と連携

温調器(温度調節計、サーモ)が搭載されている醸造機器と連携することが可能です。

冷却タンク、電磁弁の温調器



麹室や発酵蔵の温調器



今お使いの制御機器を
「改造」することで連携可能に

遠隔から温度を確認

制御機器に備え付けられた温調器のデータを、離れた場所からスマホひとつで確認できます。各タンクを回って確認する必要はありません。

連携した温調器の温度を確認



制御機器で温度を測定



スマホアプリ上から温度の確認

温度が設定値を超えるとスマホに通知

設定した上限下限の温度を超えると、スマホへプッシュ通知。常に画面を確認する必要がなく、夜間や外出時にも迅速に対応できます。また、目標温度の通知を受信し次の工程に移るなどの活用もできます。

温度異常時はスマホに通知



温度以外に下記の状態も通知できます

- ・センサーの電池残量低下
- ・センサーの電波切断
- ・設定温度の変更
- ・醸造機器の異常警報(要改造)

遠隔から設定温度を変更

スマホから温調器の設定温度（SV値）を変更できます。現場へ足を運ぶことなく、適切な温度調整が可能です。関係者のスマホへ「何度に変えたか」を通知するアンサーバックにより、チーム内での情報共有も行えます。

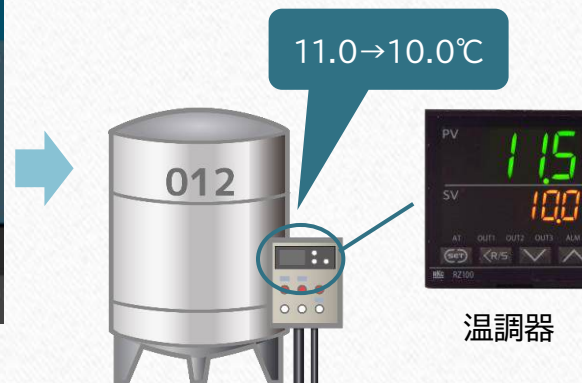
スマホからの温調器 設定温度の手順



アプリ上の変更したい機器の
設定温度「変更」をクリック



設定したい温度を選択し
「OK」をクリック

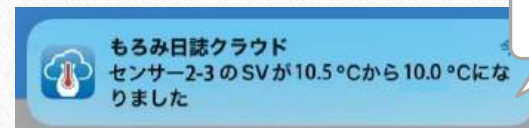


改造された制御機器の設定温度が変更

パソコンでの温度変更

- パソコンから温調器の設定温度(SV値)を変更

- 設定変更されたら関係者に通知（アンサーバック）



情報を共有

設定温度の事前登録「SV計画値」

温調器の設定温度（SV値）を事前に登録しておくことが可能です。これにより、発酵工程を計画通りに進められ、温度管理の手間を大幅に削減。自動化が進むことで、杜氏や蔵人の負担を軽減します。

SV計画値の設定手順

もろみ日記クラウド

仕込事績管理 計測器一覧

☐ グラフのみ表示 ☐ 幅縮小

麹1015 19 27 m-08 [X]

仕込名/事績名 純米吟醸m 記号

1日2回まで時刻指定可

SV計画設定

1回目 11時 2回目 17時

事績作成時、CSVや過去の事績から読み込み可

SV計画値

☒ SV計画値を利用する

CSVから読み込み

他の事績から読み込み

月日	09/26	09/27	09/28	09/29	09/30	10/01	10/02	10/03	10/04
ステージ	水麹	添						4	5
操作	仕込	仕込							
状態									
状態写真									
品温(1回目)								27.0	26.0
品温(2回目)								26.2	25.4
上限温度									
下限温度									
設定温度(SV)	21.5	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0
SV計画値(1回目)	20	20	20	20	20	20	20	20	20
SV計画値(2回目)	21	21	21	21	21	21	21	21	21
上限偏差									
下限偏差									
投入温度									
<input checked="" type="checkbox"/> 日本酒度・ボーム									

1. [環境設定]の「SV計画設定」でSV値を変更する時刻を設定

SV計画設定

1回目 11時 2回目 17時

2. [事績作成画面]で「SV計画値を利用する」にチェックし、SV値をCSVファイルなどで読み込む

SV計画値

☒ SV計画値を利用する

CSVから読み込み

他の事績から読み込み

3. 品温モニタリング画面にSV計画値が反映
(読み込まずに直接手入力することも可能)
- 指定の時間に設定温度が自動変更されます



既設設備の改造で連携追加が可能

これらの遠隔監視・制御機能は、現在お使いの温調器や醸造設備をそのまま活かして導入可能です。大がかりな設備の入れ替えや大規模な配線工事は必要ありません。

冷却タンク



樹脂ライニングタンク型
クーリングタンク
(NYK西日本)

他社製冷却タンクも
改造実績あり

電磁弁



電磁弁サーモセット
(第一工業)



もろみ温制御くん
(キクブランドウー)

制御盤



制御盤

20年以上稼働の
温度管理システム更新の
実績あり

麹室や発酵蔵



麹室

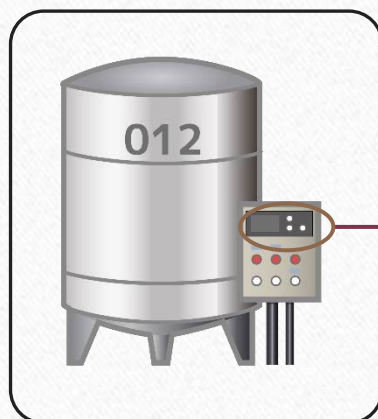


発酵蔵

遠隔制御対応への改造について

現在お使いの温調器が「データ通信対応」であれば、制御盤内に小型の「通信ユニット（RS485変換器）」を組み込むことで、低予算でスマホを活かした温度管理をはじめられます。

改造対象 制御機器



冷却タンク等の制御機器

改造内容

温調器を「データ通信対応の温調器」に交換いただく必要があります。



温調器の交換が必要かすぐに確認できます。お気軽にお問い合わせ下さい。

新規追加

通信ユニット(RS485変換器)を組み込みます。



クラウド

ユニットの固定や配線、電源の確保、外部アンテナの設置などの改造が必要となります

実際の改造作業は、制御機器メーカー様か
工事業者様へご依頼いただくこととなります。

■問い合わせページ



連携対応の温調器について

連携のためには、お使いの設備が以下のデータ通信対応の温調器を搭載する必要があります。

【指定モデル】

メーカー名	型番
理化学工業社	RZ100-MMN*N61/1-DD07
理化学工業社	RZ400-MMN*N61/1-DD07
アズビル社	C1MTR0RA0300
アズビル社	C15TR0RA0300
オムロン社	E5CC-RX2ASM-004
横河電機社	UT32A-010-00-00※1



RZ100
(理化学工業)



E5CC
(オムロン)



UT32A
(横河電機)



SDC15
(アズビル)



C1M
(アズビル)

接続可能な温調器台数について

通信ユニット(RS485変換器)に接続できる温調器の台数は1～4台です。

●温調器1台



●温調器2台



●温調器3台



●温調器4台



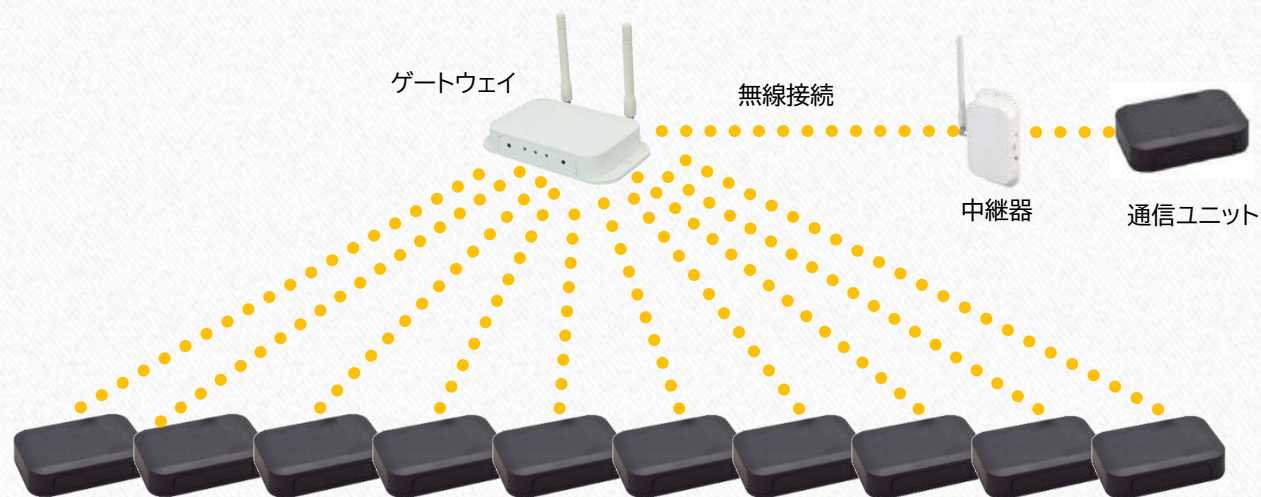
このような制御盤への組み込み時には、通信ユニットの必要台数を減らせます

ゲートウェイへの接続について

ゲートウェイと通信ユニットとは無線接続しますが、接続可能台数が決まっています。

- ゲートウェイ1台に接続可能な機器の台数は12台

※機器には、通信ユニットの他に、中継器や品温センサーも含まれます。



【接続例】 合計台数12台（通信ユニット11台＋中継器1台）